

秋田港火力発電所に関する住民意識調査結果

2018年12月12日

- 調査期間：2018年9月21日～26日
- 調査実施：国際環境 NGO グリーンピース・ジャパンが楽天インサイトに委託して実施。
- 対象地域：秋田県（秋田港火力発電所（仮称）建設予定地）
- 調査方法：対象地域在住の1000人を対象に18～79歳で10代刻みの男女の人口p構成比に合わせてオンラインで実施。

□調査結果要旨：

- 地球環境問題の中で最も脅威を感じることで、地球温暖化が54.3%と過半数を占めた。
- 地球温暖化に最も脅威を感じるとした人の理由は、環境影響では「異常気象や気象災害の増加が心配」とする人が83.8%と最も多く、社会的影響では「子どもや孫の世代の社会環境への影響が心配」とする人が41.8%と最も多かった。
- 石炭火力発電所が大気汚染の原因となることについて、「知っていた」と「だいたいは知っていた」を合わせると全体の57.9%を占め、「ほとんど知らなかった」「知らなかった」を上回った。また、二酸化炭素の主要な排出源の一つであり、火力発電の中で最も排出が大きいことについて、「知っていた」が47.8%と「知らない」52.2%を下回ったものの、約半数の人がその影響を理解していた。
- 秋田港火力発電所の建設計画について、知らない人が73.1%を占めた。
- 秋田港火力発電所の建設計画について「知っている」とした269人が、建設計画を知った経緯として「報道で見た」が7割を超えているのに対し、行政や事業者から「直接説明を受けた」人は4.5%にとどまった。
- 秋田港火力発電所の建設計画に対しては、「強く反対」「どちらかといえば反対」とする人を合わせると約3割で、「とても賛成」「どちらかといえば賛成」の倍近くとなったが、「情報が足りなくて答えられない」とした人も4割近くになった。
- 地球温暖化に対する政府の対策について、「十分な対策がとれていると思う」とした人は3.1%にとどまったが、「対策は足りていないが仕方ないと思う」28.6%、「対策としては足りないのでもっとやるべきだと思う」55.3%と合わせ、対策は足りていないと感じている人は全体の8割を上回った。

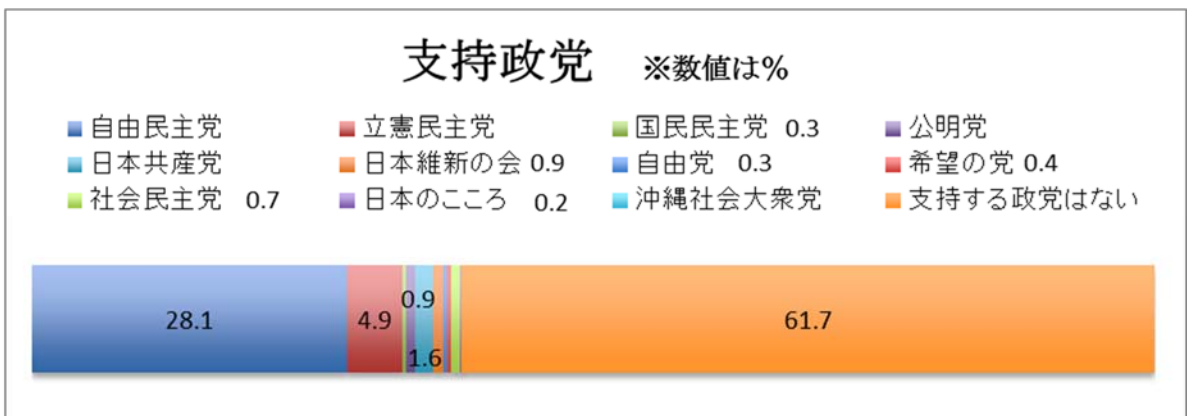
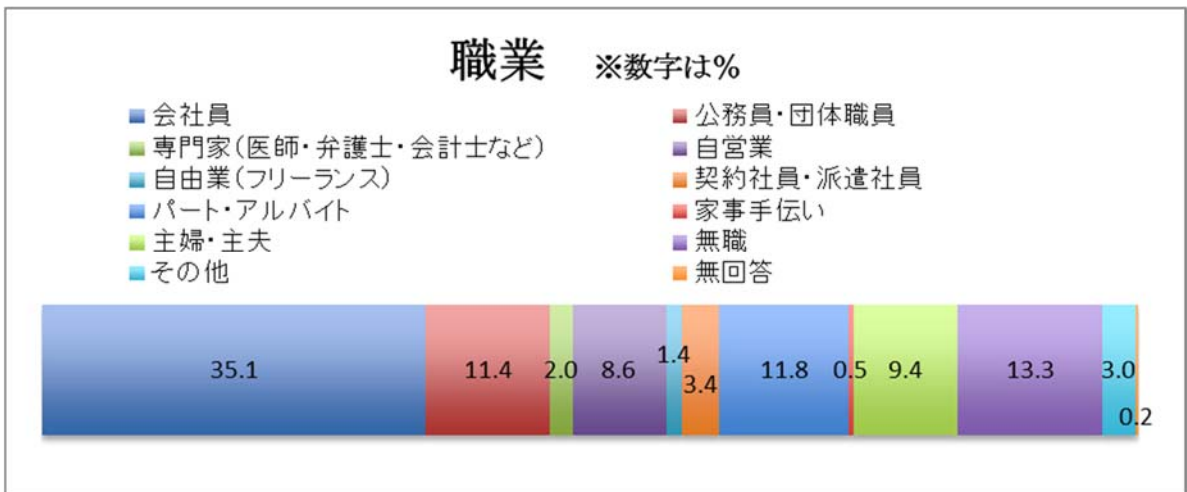
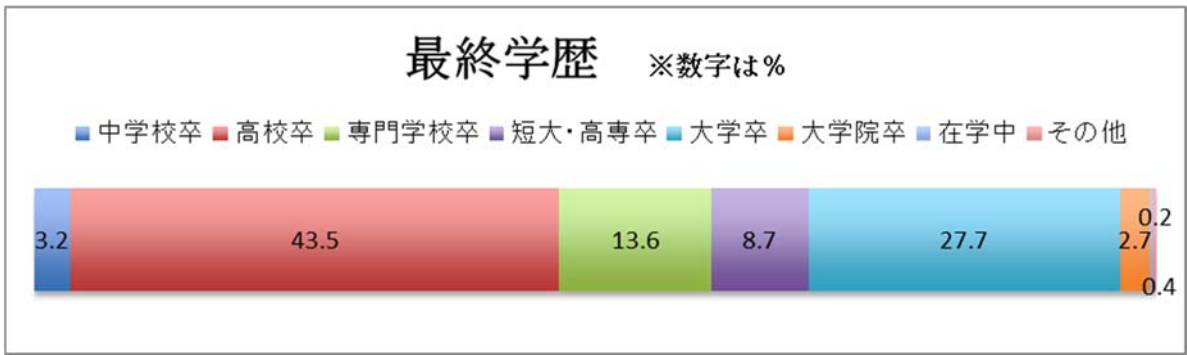
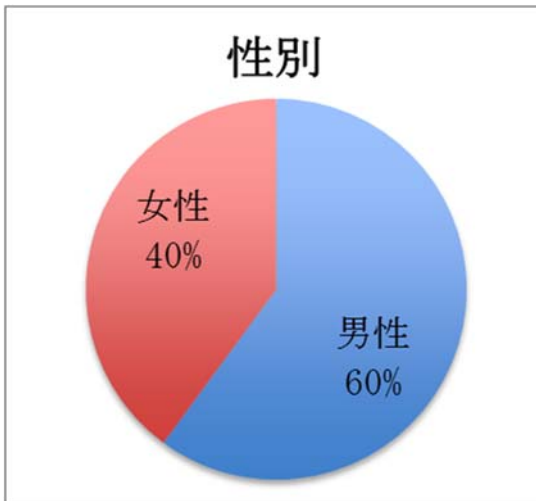
□調査分析：

今回の調査から、気候変動に対しての危機感を持っている人が非常に多いことが明らかになった。また石炭火力発電所の影響についても半数以上の人が認識していることが示された。

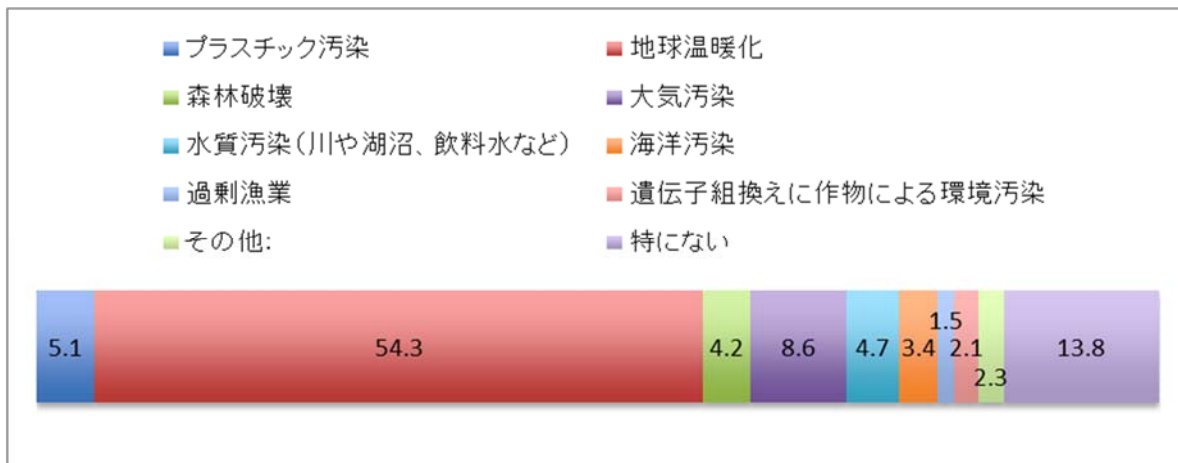
しかし、秋田県で石炭火力発電所の建設計画が進んでいることを認識していた人は4分の1程度にとどまった。また、情報が足りなくて建設の可否ができない住民が4割近くを占めている。行政や事業者から直接説明を受けたという割合が4%台と極めて低く、行政や事業者による積極的な情報発信並びに状況説明が望まれ実態が明らかになった。（気候ネットワーク）

□対象者 1,000 名の内訳

性別：男性 601 人 女性 399 人

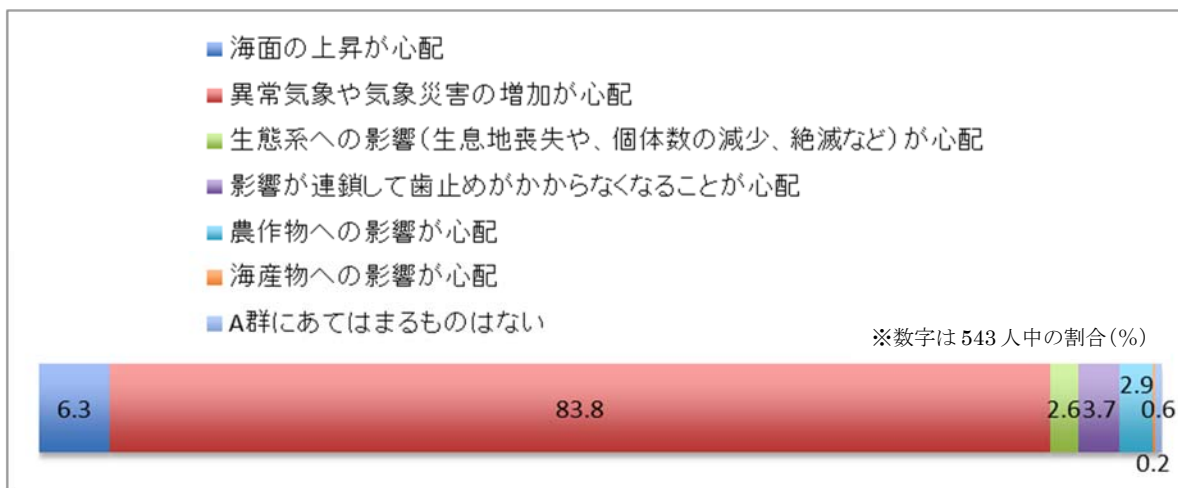


Q1. あなたが最も脅威を感じる地球環境問題は何ですか、一つ選んでください。

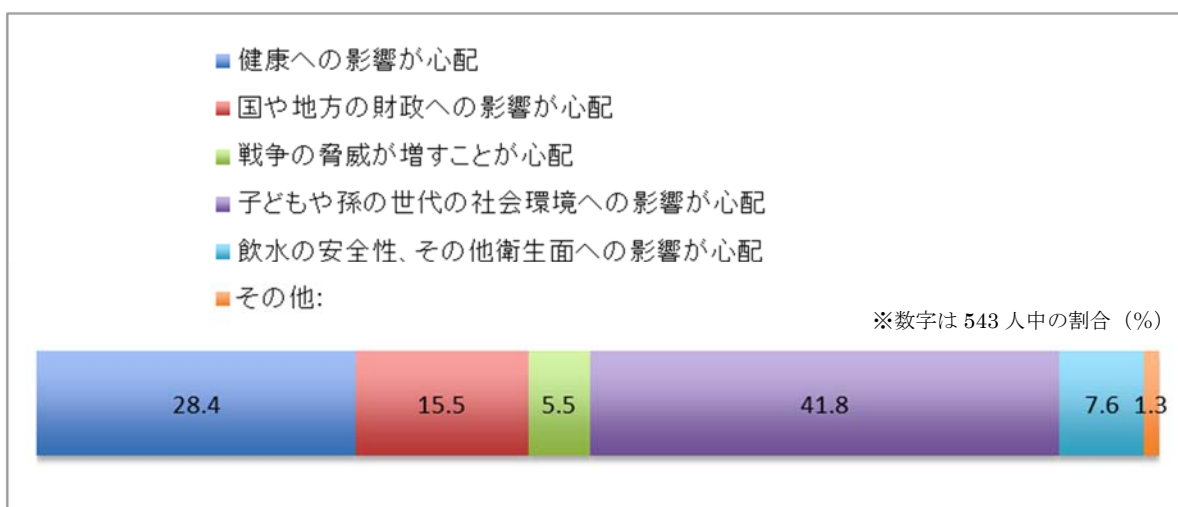


Q1-1. 「地球温暖化に最も脅威を感じる」とお答えの方にお伺いします。それはなぜですか。もっともあてはまるものをA群、B群からひとつずつ選んでください。

<A群>



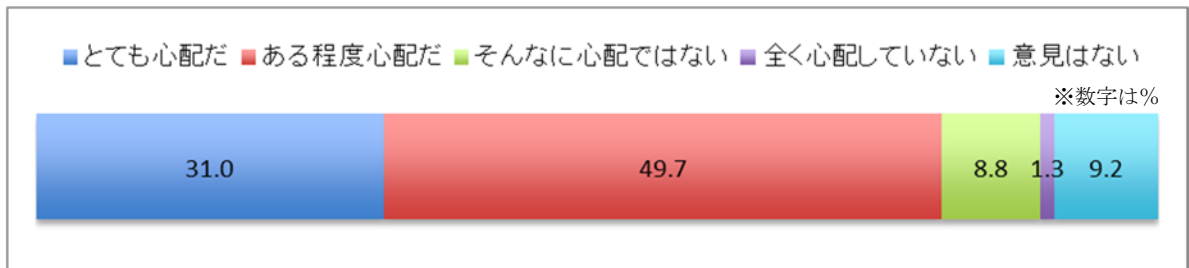
<B群>



Q2. 窒素酸化物（NO_x）や硫黄酸化物（SO_x）、水銀の排出や PM2.5 の発生など、石炭火力発電所が大気汚染の原因となることを知っていましたか。



Q3. 窒素酸化物（NO_x）や硫黄酸化物（SO_x）、水銀、PM2.5 などによる大気汚染について、あなたはどのように思いますか。



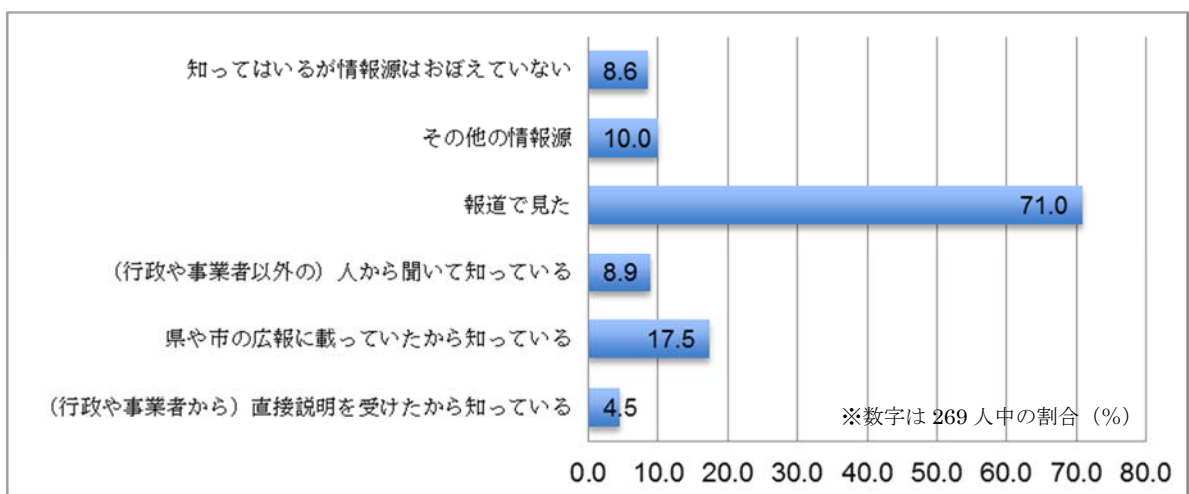
Q4. 石炭火力発電所は、地球温暖化の原因である二酸化炭素の主要な排出源のひとつでもあります。火力発電の中でも石炭火力発電が最も多く二酸化炭素（単位あたり）を排出すること知っていますか。



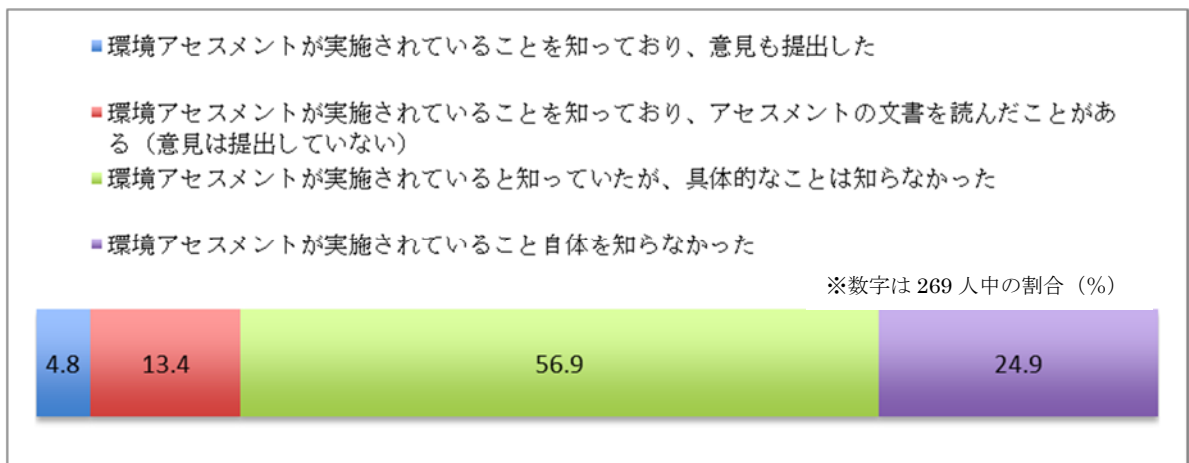
Q5. あなたの住む地域に新たに大規模な石炭火力発電所の建設が予定されています※。このことをあなたはご存知でしたか。※秋田港発電所（仮）1号機、2号機建設予定地：秋田市飯島古道下川端（秋田港）事業者：関西電力の100%子会社の（株）関電エネルギーソリューションと丸紅（株）



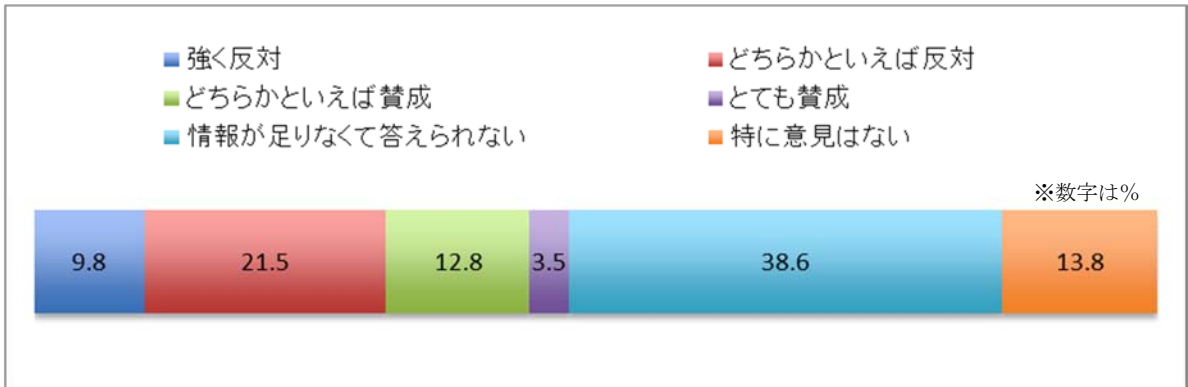
Q5-1. その石炭火力発電所の建設が予定されていることを何からお知りになりましたか。（いくつでも）



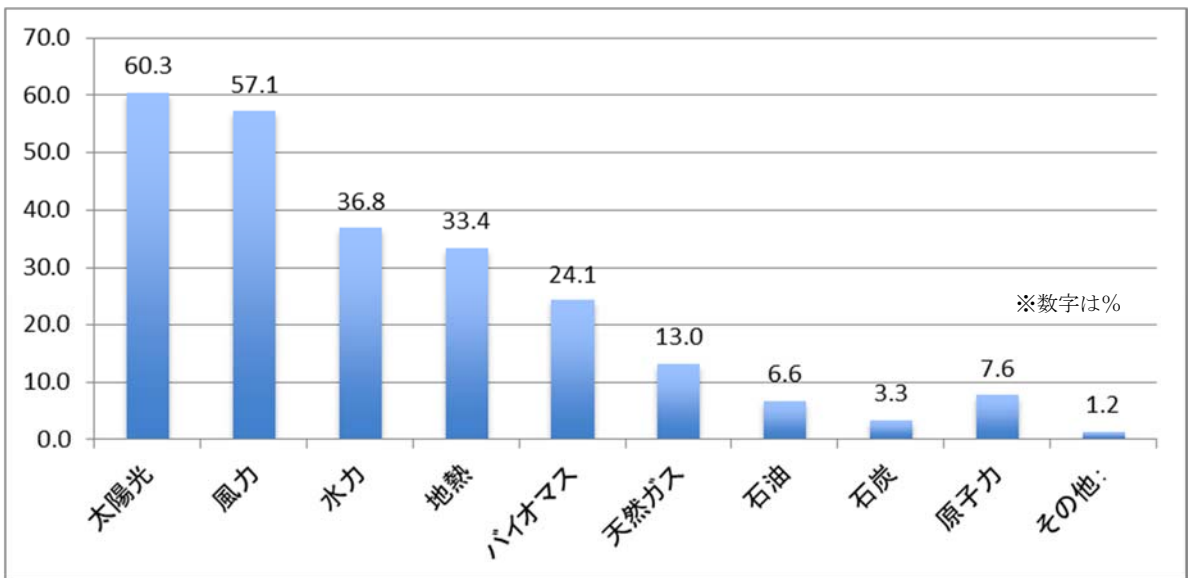
Q5-2. あなたの住む地域に石炭火力発電所の建設が予定されていることを「知っていた」と答えた方にお伺いします。石炭火力発電所を建設するとき、それが環境にどのような影響を与えるかについて、あらかじめ事業者が調査・予測・評価を行い、その結果を公表し、住民や、地方自治体などから意見を聴いて、環境の保全の観点からよりよい事業計画を作るための「環境アセスメント（環境影響評価）」という手続きがあります。前述の石炭火力発電所について、あなたにあてはまるものを選んでください。



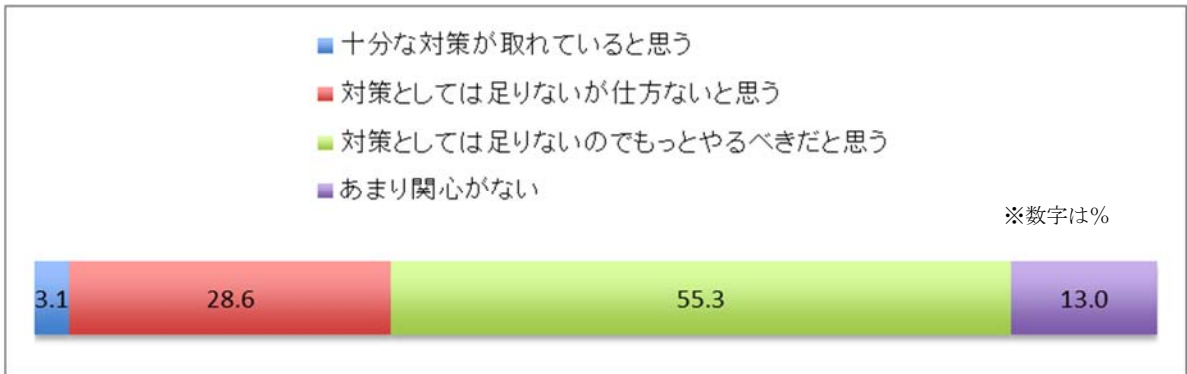
Q6. 新たに建設が予定されている石炭火力発電所について、地域（近接自治体を含む）の住民としてあなたはどのように思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。



Q7. お住まいの地域で、この先電力を供給するために、政策的な支援がえられたり、投資がなされたりするとしたら、どの電力源がいいですか。（いくつでも）



Q8. 世界気象機関による分析では、世界的に猛暑や豪雨は地球温暖化の結果増加しており、長期的な地球温暖化による傾向と関係しているという見解が示されています。地球温暖化に対する政府の対策について、あなたはどのように感じていますか。



Q9. 危険な気候変動を回避するために、政府や行政が省エネや持続可能な自然エネルギーをもっと積極的に推進するべきだと思いますか。

